

# AIと 憲法・民主主義

中部弁護士会連合会  
定期弁護士大会 シンポジウム

2024年10月18日（金）9:30～11:45（9:00 開場）★見逃し配信あり（要事前申込み）  
ザ・グランユアーズフクイ 3F 天山の間（福井市大手 3-12-10 ホテルフジタ福井内）



UNO SHIGENORI

ビデオインタビュー  
「現代民主主義の課題とAI」

東京大学社会科学研究所  
教授 宇野重規 氏  
(政治思想史・政治哲学)

## 基調講演

「AIと憲法・民主主義～  
今、私たちに起こっていること」

慶應義塾大学大学院法務研究科  
教授 山本龍彦 氏 (憲法学)



YAMAMOTO TATSUHIKO



INO TAKAHIRO

## パネルディスカッション

山本龍彦 氏 (慶應義塾大学教授)  
安野貴博 氏 (AIエンジニア・起業家・SF作家)  
後藤正邦 弁護士 (日弁連市民のための法教育委員会副委員長)  
福井弁護士会



宇野重規

東京大学社会科学研究所教授 (政治思想史・政治哲学)

1991年 東京大学法学部卒業  
1996年 東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了、博士 (法学)  
2011年 現職

著書 (最近の主要著書のみ)  
『民主主義とは何か』(講談社現代新書、2020年)『石橋湛山賞』  
『自分で始めた人たちー社会を変える新たな民主主義』(大和書房、2022年)  
『日本の保守とリベラルー思考の座標軸を立て直す』(中公選書、2023年)  
『近代日本の「知」を考える。ー西と東との往来』(ミネルヴァ書房、2023年)



山本龍彦

慶應義塾大学大学院法務研究科教授 (憲法学)

1999年 慶應義塾大学法学部卒業  
2005年 同大学院法学研究科博士課程単位取得退学  
2007年 博士 (法学)  
2014年 現職

著書 (最近の主要著書のみ)  
『AIと憲法』(日本経済新聞出版、2018年)[編著]  
『GAF A規制の死角 日本は「下請け」のままなのか』(中央公論社、2019年)[共著]  
『「超個人主義」の逆説ーAI社会への憲法的警句』(弘文堂、2023年)  
『アテンション・エコノミーのジレンマ (関心) を奪い合う世界に未来はあるか』(KADOKAWA、2024年)



安野貴博

AI エンジニア・起業家・SF 作家

東京大学、松尾研究室出身。  
外資系コンサルティング会社を経て、AIスタートアップ企業を二社創業。  
デジタルを通じた社会システム変革に携わる。日本SF作家クラブ会員。  
2024年東京都知事選に出馬、AIを活用した双方向型の選挙を実践。

著書 (長編小説のみ)  
『サーキット・スイッチャー』(早川書房、2024年)  
『松岡まどか、起業します AIスタートアップ戦記』(早川書房、2024年)

私たちは、日常生活のさまざまな場面で、デジタル技術の恩恵を受け、一方では、デジタル技術によって大量かつ容易に蓄積されるプライバシー情報に対して疑問も抱きながら、デジタル技術に浸りきった生活を送っています。AIの普及によって、私たちの生活、その基盤となるべき民主主義にどのような影響があるのか、そして、どのように向き合っていくべきかについて、この分野の第一人者をお招きし、考えてみたいと思います。

### 参加方法

#### 会場参加

事前申込みは不要です。当日午前9時から会場入口にて受付を開始します。聴覚障害者のために手話通訳をご用意しています。

#### リモート参加

事前申込みが必要です。10月11日(金)までに、以下のURL または二次元コードからお申し込みください。Zoom ウェビナーによる視聴となります。また、申込者限定でアーカイブ配信も行います。

<https://forms.gle/i35BQNeW4Mqf42jT6>

参加費無料

